

## 水管理をスマホやPCで 県がICT活用しスマート農業を実証実験



▲給水と排水を制御できる装置

県農業技術環境課は情報通信技術（ICT）を活用したスマート農業の実証実験を県内4カ所の水田で行っています。その1つが、八幡地区前川にある「雪若丸」の展示ほ場に設置され、今年から3年の計画で実証を開始しました。

水田に給水バルブの調整や水位、水温計測、データ送受信ができる自動給排水栓を設置し、生産者がどこにいてもスマートフォンやパソコンからデータを閲覧でき、遠隔操作や自動で給水・排水を制御することができます。

同課の担当者は「水管理にかかる労力削減を可能にし、規模拡大や余剰労力を活かした取り組みに貢献、所得向上が期待できる」と話していました。

## 特別な年に心を込めてお祈り 庄内札所三十三霊場巡り開催

当JAでは庄内三十三観音御開帳を記念し、6月6日と7月5日の2日間で庄内札所三十三霊場巡りを行いました。組合員や女性部員など、募集人数の2倍以上にあたる71人が参加しました。庄内札所三十三霊場は首番と番外をあわせ35カ所。2日間で全霊場を巡る日程で、1日目は酒田市と遊佐町、庄内町にある17カ寺を巡りました。

参拝の作法などを説明する「先達」として15番札所の龍澤寺（茗ヶ沢）と泰宗寺（庄内町宮曾根）の住職が同行するのも魅力の一つ。参加者は「観音様を間近で見られて感激した。次回も今から楽しみ」と話していました。7月5日には鶴岡市と三川町の18カ寺を巡りました。



▲酒田市の延命寺で同寺住職（写真1段目右から二人目）を囲んで

## 初の離島開催!初夏の飛島で自然満喫 第3回ウォーキング倶楽部



▲「トビシマカンゾウ」が咲く荒崎にて。皆さんすてきな笑顔でした

ウォーキング倶楽部は6月23日、初の離島開催となる「初夏の飛島を歩く」を開き、46人が参加しました。一行は朝9時に定期船「とびしま」で酒田港を出航。ガイドの指導のもと、前半は島中部の勝浦から海岸沿いを歩いて館岩へ登り、後半は山道を通り荒崎を目指す約3時間のコースで初夏の飛島を満喫しました。

山形県唯一の離島として知られる同島。6月は「トビシマカンゾウ」が咲く時期ということもあり、当日は観光客で大にぎわい。参加者は「初めての飛島だったが、ガイドの方々が丁寧な説明をしてくれたので安心して楽しめた。海水の透明度や珍しい花々に感動した」と話していました。